

単語を書く(2)

(1)長母音

「ハト」ではなく「ハート♡」。ここで使われている長音記号「ー」に相当するものは、アラビア語では3種類あります。

「アー」の「ー」は1番目の文字アリフ(ا)、「イー」の「ー」は28番目の文字ヤー(ي)、「ウー」の「ー」は27番目の文字ワーウ(و)。

つまり、「ハー」と書くときは、「ハ」を書いた後、アリフ(ا)を書き足します。「ヒー」は「ヒ」の後にヤー(ي)、「フー」は「フ」の後にワーウ(و)をプラス。

ا + <u> </u>	ي + <u> </u>	و + <u> </u>
ā	ī	ū

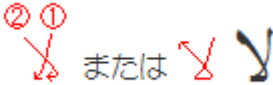
それでは、単語を書いていきましょう。

「お茶」(shāyun シャーユン)は、まずシャ(shā)を書きます。次に長母記号「ー」に相当する文字を書きます。後はいつも通り。

語	語尾	語中	語頭	独立形	
					茶 shāyun シャーユン
					ミルク ḥalībun ハリーブン
					市場 sūqun スーケン

アルファベット23番目の文字ラーム(ﺝ)の後に、1番目の文字アリフ(ا)がくると、形が変わります。「ラーム・アリフ→変身」と覚えてください。

変身したラーム・アリフの書き方

語中・語尾	語頭	ا + ﺝ
	 または	

語	語尾	語中	語頭	独立形	
					平安 salāmun サラ—ムン

(2) 二重母音

ay は ai(アイ)、aw は au(アウ)と発音します。アラビア文字の表記は転写通りです。

語	語尾	語中	語頭	独立形	
					夜 laylun ライルン
					服 <u>th</u> awbun サウブン

(3)ター・マルブータ(ة)

語尾が atun の語は女性名詞(または形容詞の女性形)です。atun の t は ت (3番目の文字ター)ではなく ة (ター・マルブータ)を使います(文字表 p.3)。マルブータは「結ばれた」という意味で、تのお皿の両端を結んだのがター・マルブータ。この文字は単語の語尾にしか使われません。

書き方: ة (26番目の文字)の上に点を2つ書き足すとター・マルブータになります。

結合形	独立形(意地悪な文字の後)
	

語	語尾	語中	語頭	独立形	
					コーヒー * qahw atun
					部屋 ghurf atun

* 女性名詞の語尾「atun」の「tun」は、日常会話では発音しないのが一般的です。
コーヒーはカフワ(qahwa)。「コーヒー」という言葉の語源です。

(4) ハムザ ʾ (ʾ)

ハムザは特殊な文字。文字ではなく記号だと言う人もいます(文字表 p.4)。
18番目の文字アイン(ع)から作られました(頭の部分)。



転写は、アインが記号「 ʾ 」であるのに対し、ハムザは「 ʾ 」。

語頭では、アリフ(ا)を台にします。

語中・語尾では、単独で書くか、アリフ(ا)、ワーウ(و)、ヤー(ي)のいずれかを台にします(ヤーがハムザの台になるときは、下の2つの点は書きません)。単独か、どの文字を台にとるかは規則がありますが、初級の段階では、出てきた形をそのまま覚えましょう。

語中・語尾	語頭
ء أأؤئئئئئ	أ إ

☆発音

声門閉鎖音。「ア・ア・ア」「イ・イ・イ」「ウ・ウ・ウ」のように母音を区切って発音するとき、声門が閉じたり開いたりします。この音です。

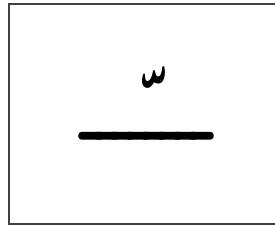
*「明日朝」と言うときの「朝」の「ア」が声門閉鎖音です。「明日」の「ア」と「朝」の「ア」の違いを意識することは、ほとんどないと思います。たぶんアラブ人も。
ハムザは、ふつうに「ア」「イ」「ウ」と発音しても十分通じるので、声門閉鎖音であることは気にしなくても大丈夫です。

語	語尾 語頭	独立形	
		أ ب	父 'abun

(5) シャツダ

転写では、同じ文字が2つ連続するとき(=アラビア文字表記では、無母音を示す記号がついた文字の後に、同じ文字が続くとき)、文字は1つだけ書いて、その上にシャツダ(ローマ字 w に似た記号)をつけます。つまり、シャツダは、2つの文字が重なっていること(ダブっていること)を示す記号です。

子音が م (m)、ن (n)、و (w)、ي (y) である場合を除き、促音「ツ」で発音します。



語	語尾	語中	語頭	独立形	
				 run kka su	砂糖 sukkarun スッカルン
				 yyun ni a ba a ya	日本人* yābāniyyun =yābāniyun ヤーバーニーユン

*「日本人」は يَابَانِيٌّ (yābāniyyun) と表記しますが、ヤーバーニーユンと発音します。今後は転写を yābāniyun とします。